

いしかわモノづくり 産業遺産

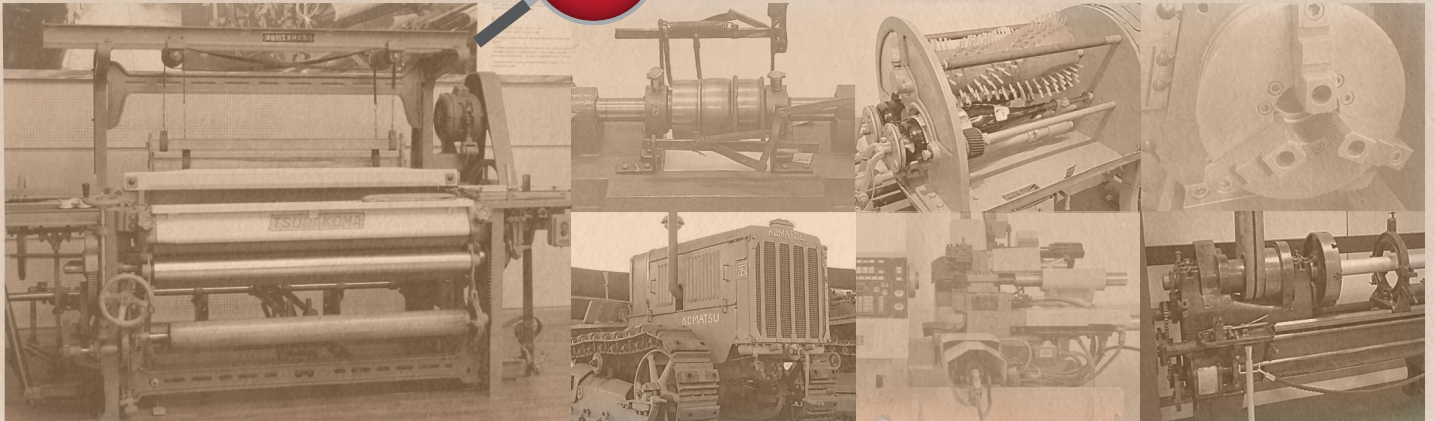
Industrial Heritage

いしかわ
見聞学

平成23年度に制定された「いしかわモノづくり産業遺産認定制度」は、石川県内の企業により製造され、国内の基幹産業発展に大きく貢献した機械を、「モノづくり産業遺産」として認定する制度です。

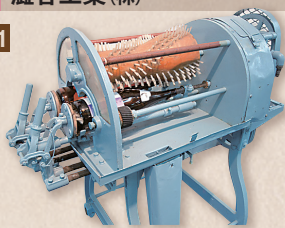
石川県民の理解を深め、次代を担う若者のモノづくりへの関心を高めること、県内外への情報発信等を通じて、いしかわのモノづくり産業の更なる振興・発展を図ることを目的とします。

平成23年度、24年度合わせて16社31件の機械を認定しました。



澁谷工業(株)

01



にれんしきびんせんき
二連式壺洗機 (昭和28年)

二本の一升瓶を同時に洗浄でき、当時は手洗いであった壺の洗浄作業の効率化に大きく貢献しました。

02



たてせらいと
**縦型セライト
濾過機** (昭和30年)

瓶詰め前の清酒をろ過します。従来の綿濾過よりも目詰まりしにくく、長時間の使用が可能でした。

03



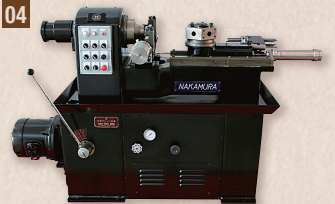
連続洗米機
(昭和30年)

手作業による重労働だった酒造米を洗う行程を軽作業化し、全国の酒造メーカーに導入されました。

P.3 52

中村留精密工業(株)

04



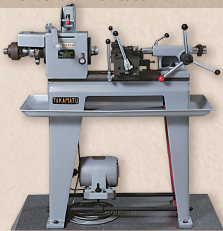
油圧自動タレット旋盤 NT5 型 (昭和38年)

油圧と電気制御の組み合わせにより、多くの行程を自動化。簡単かつ多種の加工を可能にしました。

P.6 129

高松機械工業(株)

05



めんとりせんばん
面取旋盤 T-650 (昭和39年)

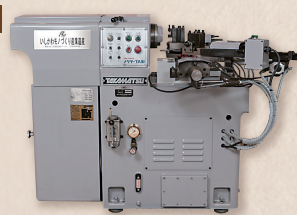
大型旋盤が主流の中、小さな加工品は小さな旋盤でとの発想から開発された省スペース・ローコスト旋盤。

06



CRT付対話型 CNC旋盤 TCC-8 (昭和51年)
機械と人がコミュニケーションできる、国内初のマイクロコンピュータ搭載のCNC (コンピュータ数値制御) 旋盤。

07



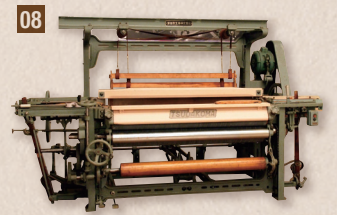
精密油圧自動旋盤メリター (昭和49年)

機械と電気制御の一体化により、正確かつ迅速な量産加工と最大240種類の多様な加工が可能です。

P.6 127

津田駒工業(株)

08



K型織機 (昭和35年)

昭和6年から50年間で9万台を製造しました。軽目羽二重から重目織物まで幅広い対応が可能です。

P.3 53

大同工業(株)

P.6 126

09



木製リム
(明治36年)

木地のろくろ引きの技術を活用して製造された、国内初の自転車用木製リムです。

10



DK415T チェーン (昭和38年)

昭和38年に開催されたオートバイ世界GP日本大会(50ccの部)で優勝したホンダ社製バイクが使用しました。

(株)石野製作所

P.6 120

11



**イシノ式
麻袋開口器** (昭和39年)

米俵から麻袋への転換期。本器により、従来二人作業であった米の袋詰が一人で行えるようになりました。

12



給湯給茶装置付寿司コンベア機 (昭和63年)

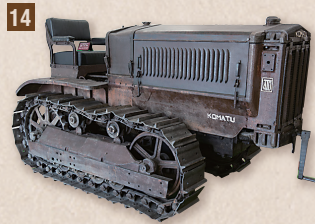
給茶装置をコンベアレーン上部に設置し、上部から給湯。省力化に貢献しました。

(株)小松製作所

(こまつの杜わくわくコマツ館) P.6 123



13 T25 トラクタ (昭和11年)
旧小松工場で製造された現存する世界最古のトラクター。昭和7年から18年までに238台生産されました。



14 G40 トラクタ (昭和15年)
粟津工場で製造された自社製ガソリンエンジン搭載のトラクター。国産ブルドーザーの元祖となりました。



15 D50 ブルドーザー (昭和24年)
現存する最古のD50ブルドーザー。作業員200人分の働きで戦後の復興に貢献しました。



16 D50-S8 ドーザーシヨベル1号機 (昭和33年)
当時制作された試作機。バケットローダーの掘削力不足の問題点を解消するために開発されました。



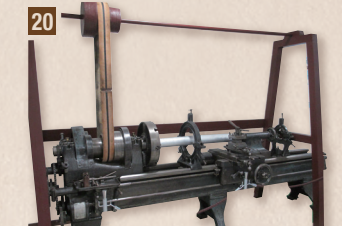
17 D50A ブルドーザ実験車 (昭和36年)
海外資本の自由化対策に対応するため、性能・耐久性の画期的向上を追求した実験車です。



18 JH30B ペイロード (昭和40年)
国内ホイールローダの草分け的存在。建設現場での土砂運搬や冬季の除雪作業に大きく貢献しました。



19 水圧鍛造プレス (昭和5年)
旧小松工場で製造され、同工場にて平成6年まで稼働しました。主に建設機械の足回り部品の鍛造を行っていました。



20 長尺旋盤 (昭和10年)
8尺までの長尺物の切削加工が可能な万能旋盤。小松市を鉄工業の町に変貌させる原動力となりました。

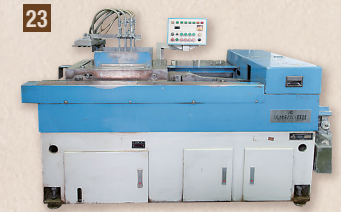
(株)高井製作所



21 大豆粉碎装置 (大正6年)
二つのギア状の石棒を組合せ、回転させることにより大豆を粉碎。重労働であった作業の省力化に貢献しました。



22 面取研削機 (昭和38年)
全国初の砥石を利用した面取研削機。刃物では割れない焼入れしたものも加工可能です。



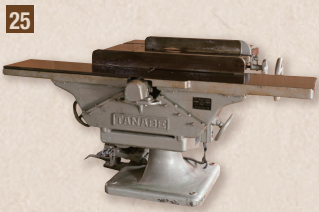
23 マルチブレードソーマシン (昭和60年)
県内初の人工水晶やセラミック等、電子部品の半導体を切断するマルチブレードソーです。



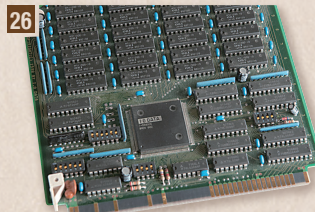
24 プッシュ捲機械 (昭和22年)
創業時に製造した伝動用ローラーチェーン部品のプッシュを製造する機械です。現在も稼働中。

(株)田辺鉄工所

P.10 196

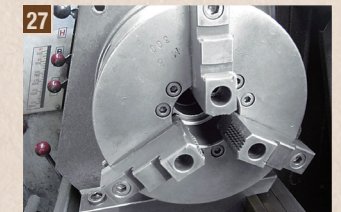


25 新星万能木工機 (昭和34年)
自動カンナ機、昇降丸鋸盤など5つの機能を有する万能木工機です。昭和28年、昭和天皇に天覧されました。



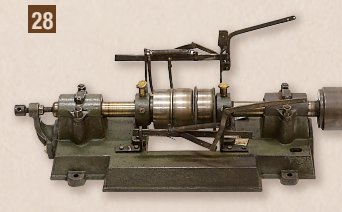
26 PC9800 シリーズ用増設メモリボード (昭和63年)
独自のI-Oバンク方式により、大容量アプリケーションの素早い処理が可能となりました。

山本機械工業(株)



27 強力型スクロールチャック (昭和36年)
従来、鋳物製であった加工物固定のスクロールチャックを焼入れ・研磨を施した鋼鉄製にて製造しました。

山中木地挽物技術保存会



28 山中式轆轤 (昭和40年)
主軸が二方向に回転。多様な木地加工が可能になり、山中漆器の工法の多様化に貢献しました。

(株)PFU



29 USAC3100 (昭和42年)
当時、概念として確立していなかったオフィスコンピュータを指向した低価格の小型コンピュータです。



30 USAC720 (昭和48年)
オフコン分野初のマイクロプログラミング方式を採用。入出力チャンネル方式により入出力同時動作が可能です。



31 多目的プリンタU5201 (昭和61年)
多機能ドットインパクト式プリンタ。スプロケット付連帳に加え、カット紙にも印字可能です。

いしかわモノづくり
産業遺産
Industrial Heritage
[平成23・24年度認定]